

第3章 将来の医療需要

(1) 将来の医療需要

高齢になるほど入院の受療率は上がるため、高齢者の増加に伴い、医療需要は増加します。「第1章(4)将来の医療需要の推計方法」で説明した医療法に基づく推計の結果をみると、特に、本土区域においては在宅医療等の医療需要が急激に増えます。しかし、離島区域においては、既に高齢者数がピークを迎えているため、医療需要は横ばいか、減少すると推計されています。なお、本土の長崎、佐世保県北、県央、県南区域においては、医療需要のピークは2035年(平成47年)となっており、将来のあるべき医療提供体制の構築にあたっては、これを見据えた形で整備することが必要となります。また、離島区域においては、病床、在宅医療等の医療需要はともに横ばいか減少傾向となると推計されており、今後の医療、介護人材の確保や医療機関、介護施設の整備にあたっては、特に留意する必要があります。

県全体でみると、入院(病床)の医療需要は横ばいですが、在宅医療等の医療需要が大幅に増えると推計されています。

【表】県全体の医療需要の推移

2013年(平成25年)の医療需要は医療法の計算式にあてはめて推計した結果であり、当時の入院、在宅医療等患者の実態と一致するものではない。

また、2013年から2025年にかけて、慢性期が減少し在宅医療等が大きく伸びているのは、各都道府県で異なる療養病床の入院受療率(地域差)を可能な限り平準化する補正(「第1章(4)才」療養病床の入院受療率の調整」を参照)を反映しているためである。

医療機関所在地	2013年 (平成25年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
医療需要合計(A)	31,268.2	35,902.0	38,385.8	39,443.6	38,495.1
うち病床	15,128.6	14,385.1	15,119.9	15,191.9	14,708.0
うち在宅医療等	16,139.6	21,516.9	23,266.0	24,251.7	23,787.1
患者住所地					
医療需要合計(B)		36,524.8	39,024.2	40,071.8	39,086.6
うち病床		14,752.0	15,491.1	15,547.2	15,037.4
うち在宅医療等		21,772.9	23,533.1	24,524.6	24,049.3
流出入(A)-(B)		-622.8	-638.4	-628.3	-591.5

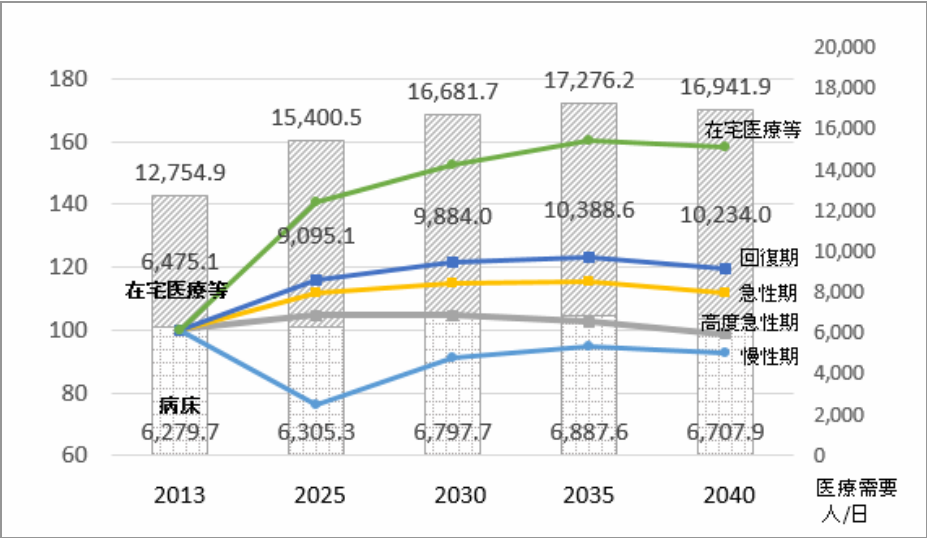
【図】構想区域別の医療需要(医療機関所在地)の推移と4つの機能区分の推移

折れ線グラフ：2013年の4機能及び在宅医療等の医療需要を100としたときの将来の動向。

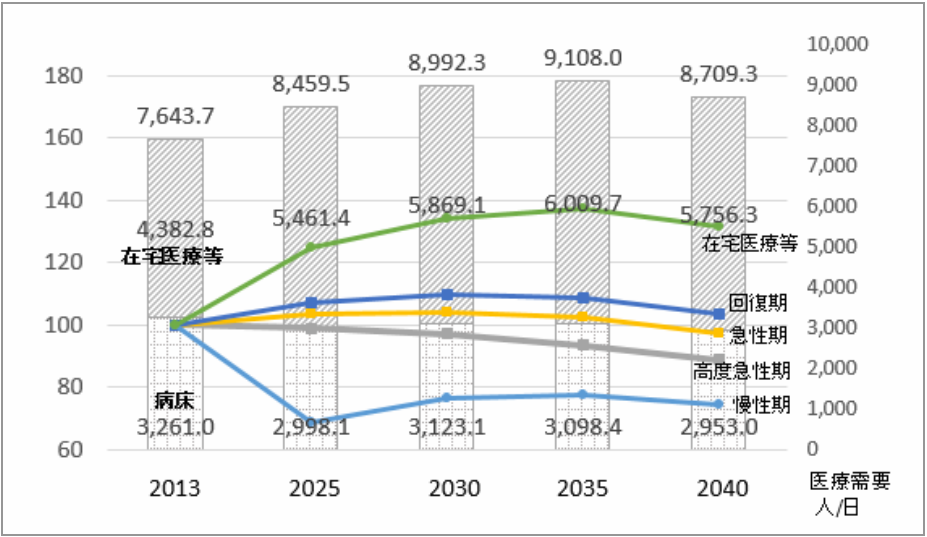
棒グラフ：推計結果による医療需要の実数。

第 3 章 将来の医療需要

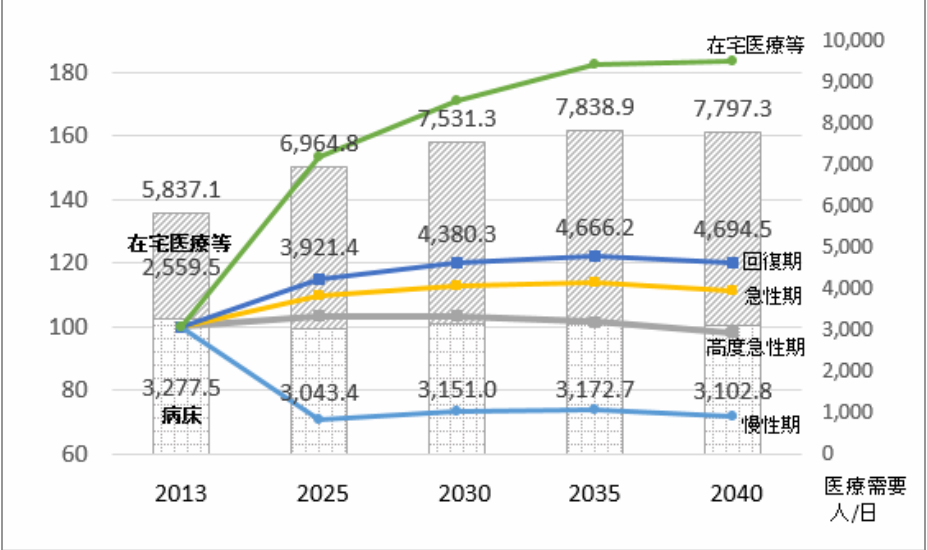
【長崎区域】病床の医療需要はほぼ横ばいであるが、在宅医療等の医療需要が大幅に増加する。



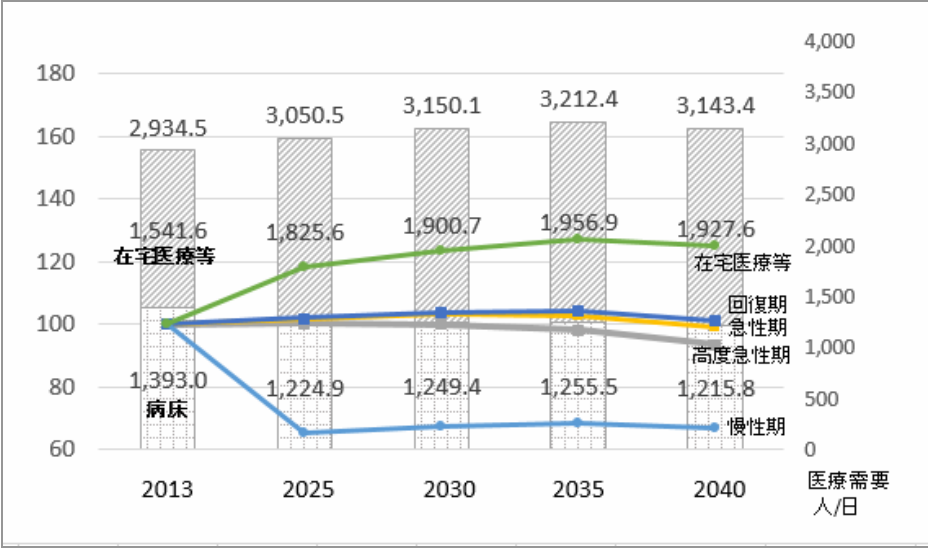
【佐世保県北区域】病床の医療需要はほぼ横ばいであるが、在宅医療等の医療需要が増加する。



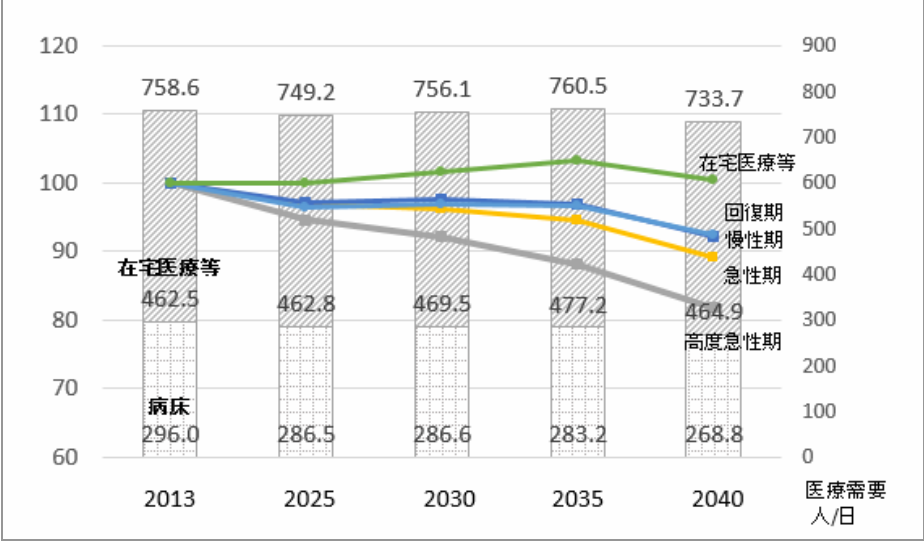
【県央区域】病床の医療需要はほぼ横ばいであるが、在宅医療等の医療需要が大幅に増加する。



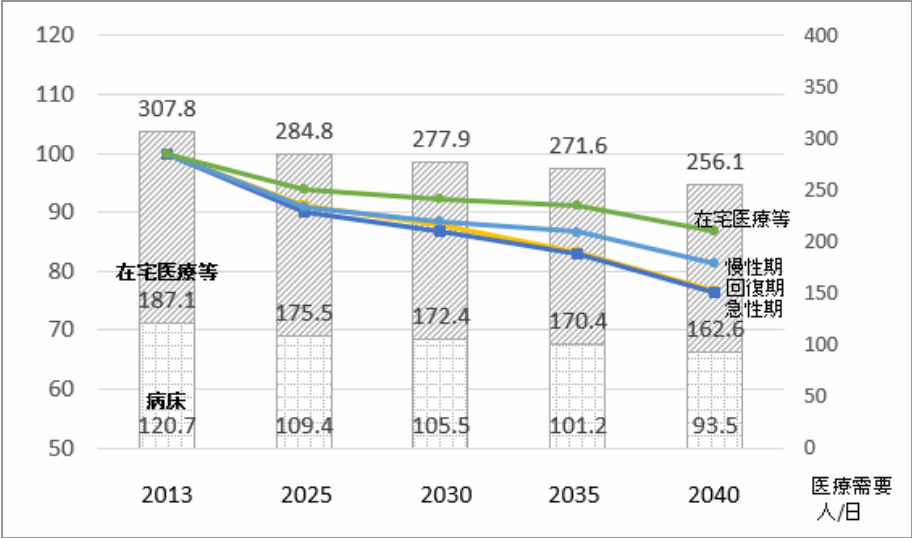
【県南区域】病床の医療需要はほぼ横ばいであるが、在宅医療等の医療需要が増加する。



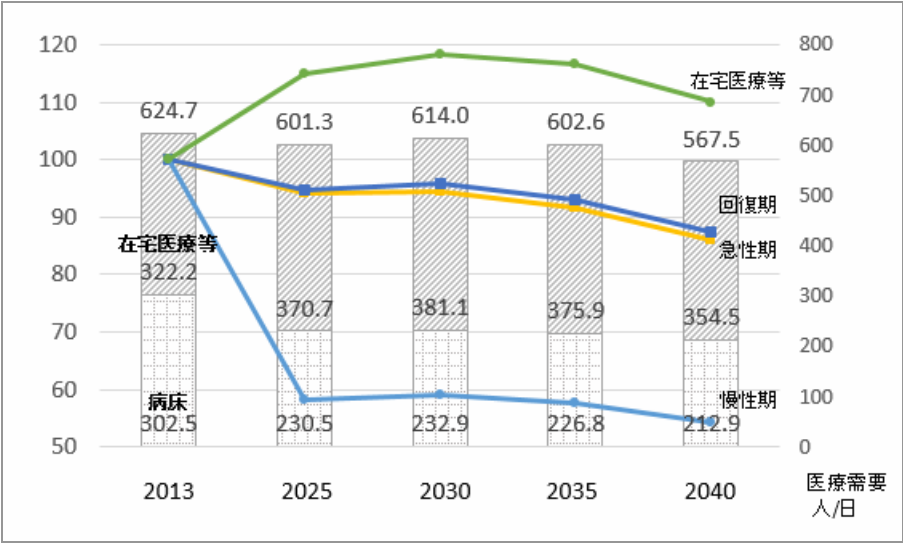
【五島区域】病床の医療需要は減少に向かい、在宅医療等の医療需要が微増する。



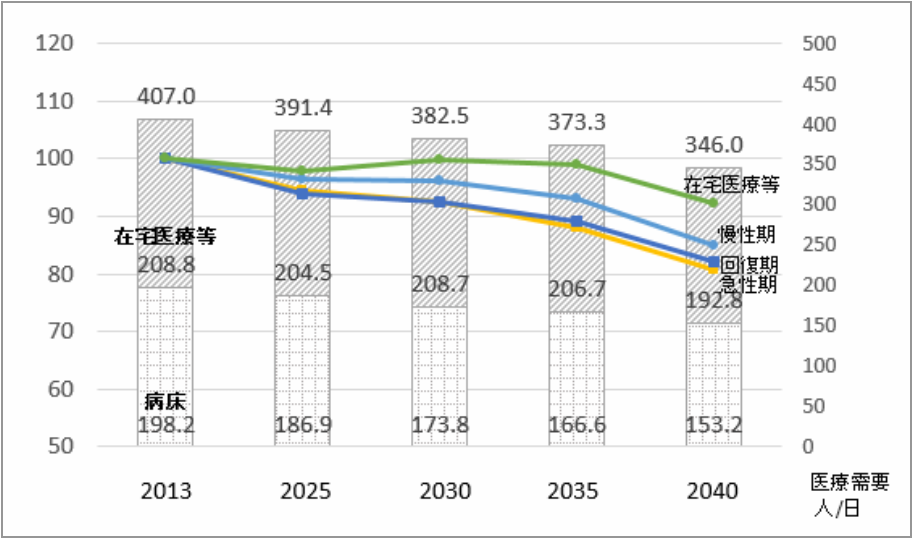
【上五島区域】病床の医療需要、在宅医療等の医療需要ともに減少に向かう。



【壱岐区域】病床の医療需要はほぼ横ばいであるが、在宅医療等の医療需要が増加する。



【対馬区域】病床の医療需要、在宅医療等の医療需要ともに減少に向かう。



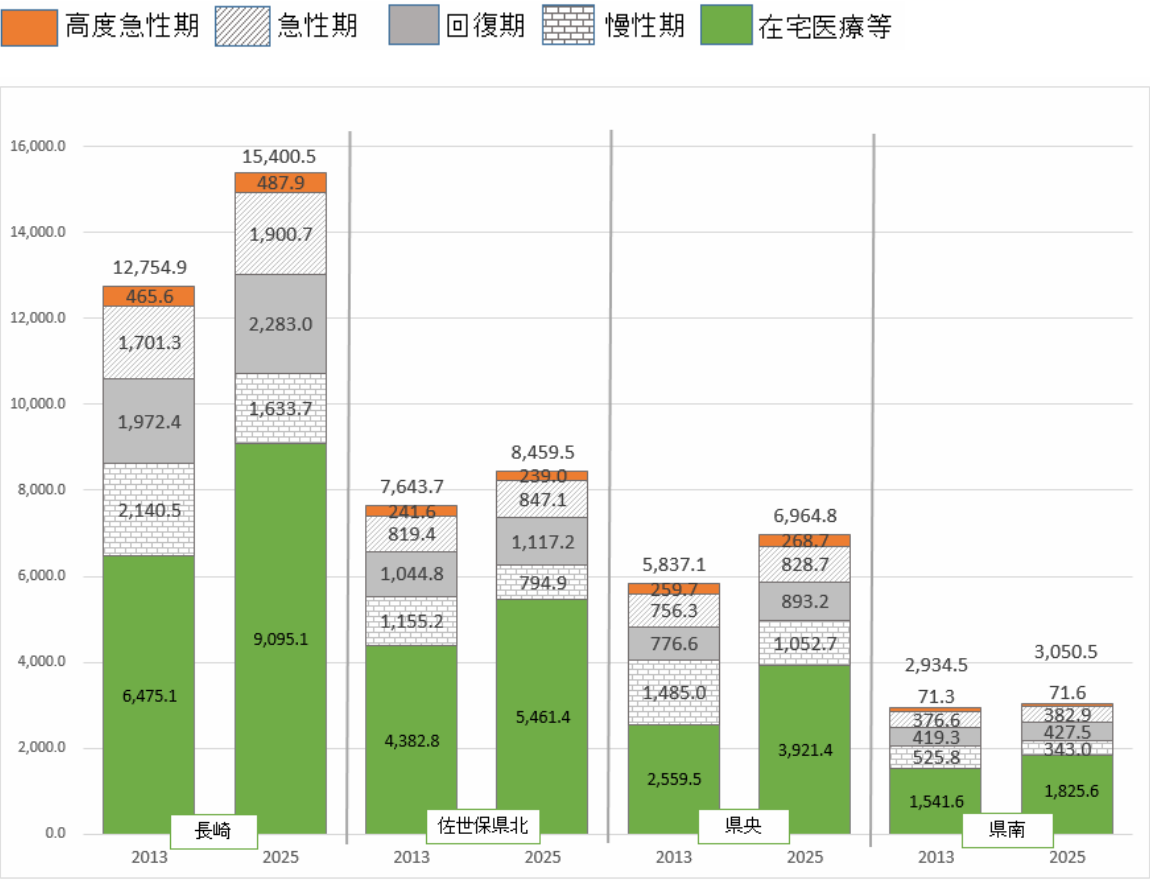
(2) 2025 年 (平成 37 年) の医療需要

ア) 機能別の医療需要

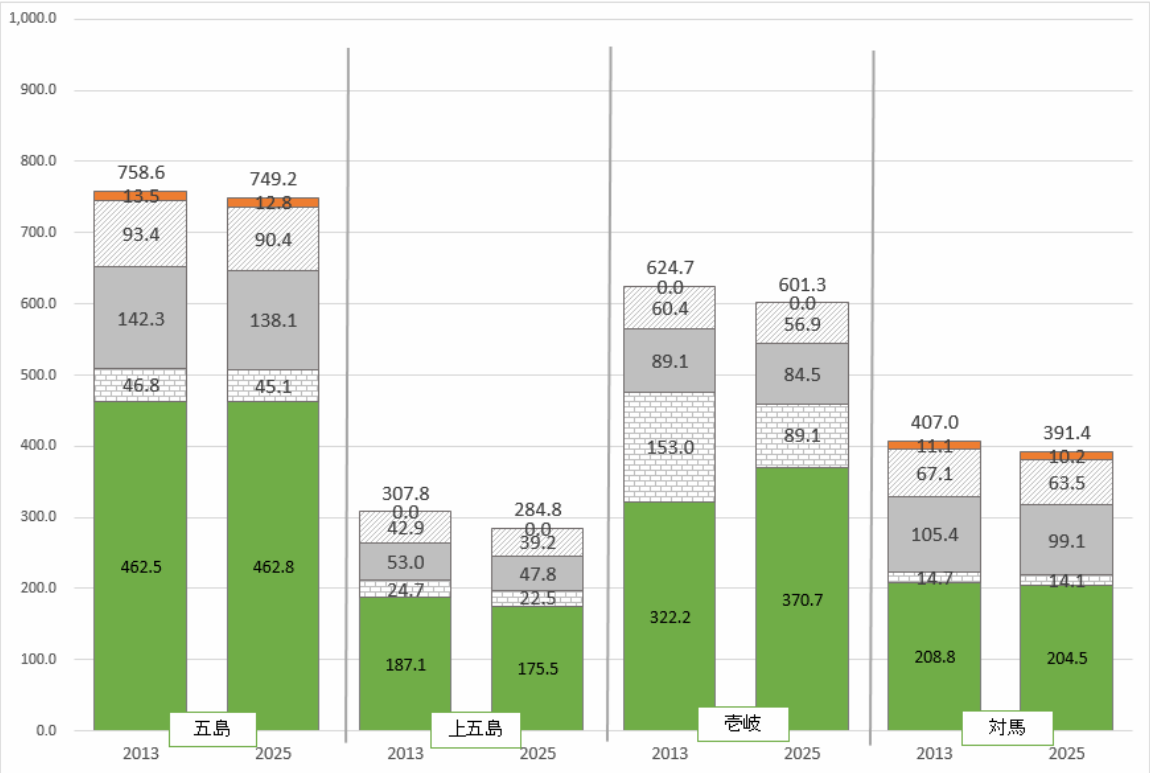
医療機関所在地における 2013 年 (平成 25 年) と 2025 年の医療需要を比較すると、本土区域では全ての区域において、医療需要、特に在宅医療等に対応する医療需要が増加しますが、離島区域では大幅な増加は見られません。特に長崎区域、県央区域では、在宅医療等の医療需要が大幅に増加すると推計されています。また、医療機関所在地と患者住所地を比較すると、離島の構想区域で患者住所地の医療需要が多くなっており、一定の患者が流出しています。

第 3 章 将来の医療需要

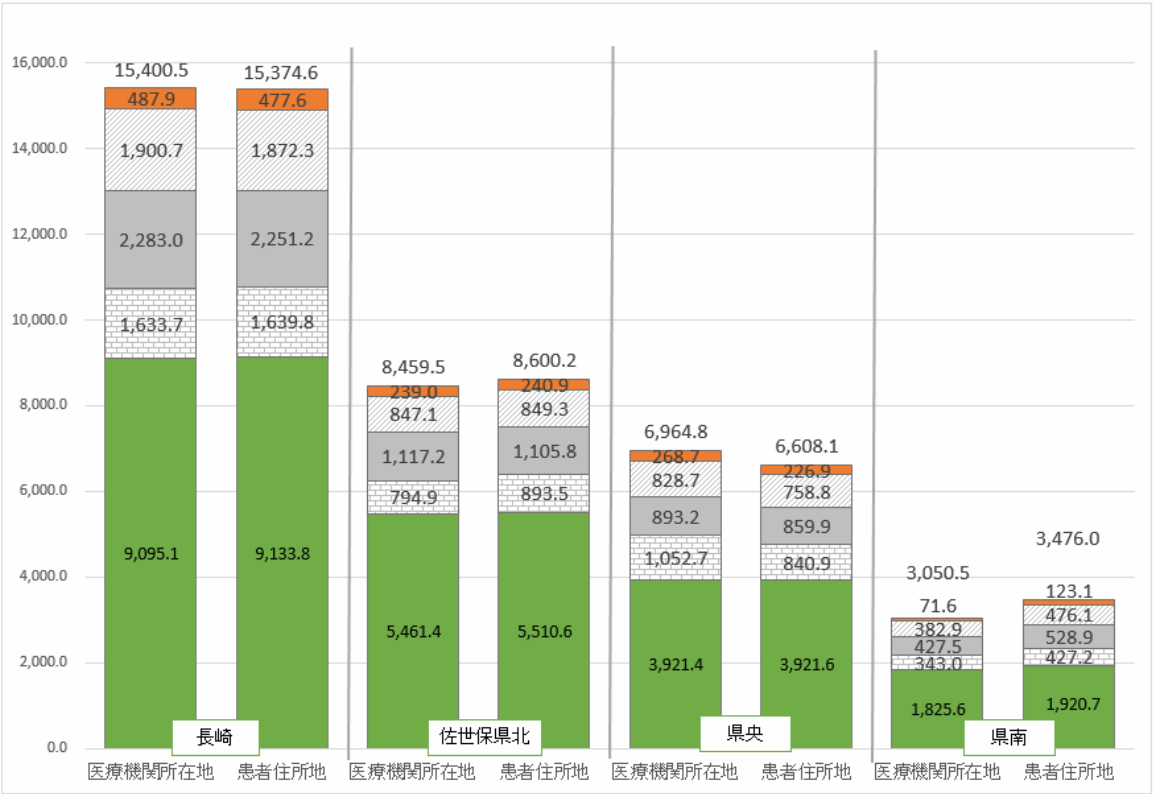
【図】本土の構想区域の医療需要（2013 年と 2025 年の比較）



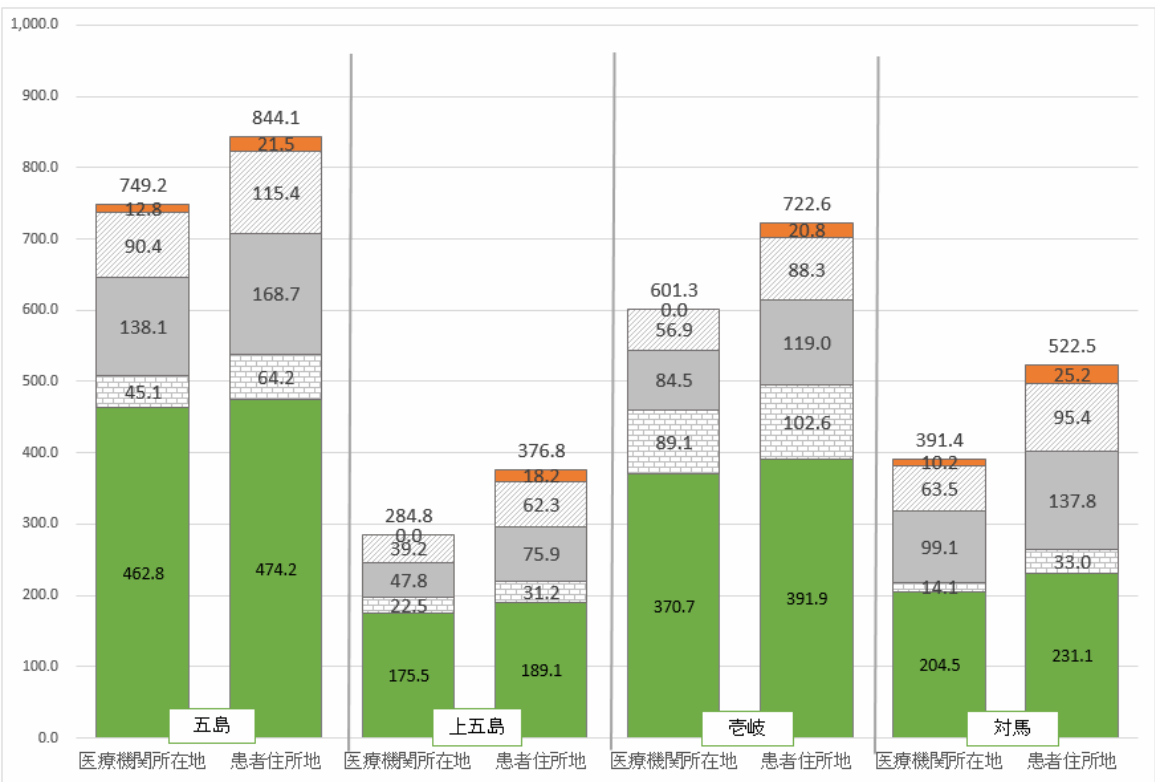
【図】離島の構想区域の医療需要（2013 年と 2025 年の比較）



【図】本土の構想区域の医療需要（医療機関所在地と患者住所地の比較）



【図】離島の構想区域の医療需要（医療機関所在地と患者住所地の比較）



第3章 将来の医療需要

【表】2025年（平成37年）の医療需要

単位:人/日

構想区域	医療機能	医療機関所在地(A)	患者住所地(B)	A/B
長崎 ※特例適用	高度急性期	487.9	477.6	102.1%
	急性期	1,900.7	1,872.3	101.5%
	回復期	2,283.0	2,251.2	101.4%
	慢性期	1,633.7	1,639.8	99.6%
	在宅医療等	9,095.1	9,133.8	99.6%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	4,677.2	4,704.2	99.4%
	小計	15,400.5	15,374.6	100.2%
佐世保 県北 ※特例適用	高度急性期	239.0	240.9	99.2%
	急性期	847.1	849.3	99.7%
	回復期	1,117.2	1,105.8	101.0%
	慢性期	794.9	893.5	89.0%
	在宅医療等	5,461.4	5,510.6	99.1%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	2,469.0	2,522.8	97.9%
	小計	8,459.5	8,600.2	98.4%
県央	高度急性期	268.7	226.9	118.4%
	急性期	828.7	758.8	109.2%
	回復期	893.2	859.9	103.9%
	慢性期	1,052.7	840.9	125.2%
	在宅医療等	3,921.4	3,921.6	100.0%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	1,411.8	1,444.6	97.7%
	小計	6,964.8	6,608.1	105.4%
県南 ※特例適用	高度急性期	71.6	123.1	58.2%
	急性期	382.9	476.1	80.4%
	回復期	427.5	528.9	80.8%
	慢性期	343.0	427.2	80.3%
	在宅医療等	1,825.6	1,920.7	95.0%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	570.6	580.1	98.4%
	小計	3,050.5	3,476.0	87.8%
五島	高度急性期	12.8	21.5	59.5%
	急性期	90.4	115.4	78.3%
	回復期	138.1	168.7	81.9%
	慢性期	45.1	64.2	70.2%
	在宅医療等	462.8	474.2	97.6%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	184.7	186.6	99.0%
	小計	749.2	844.1	88.8%
上五島	高度急性期	*	18.2	-
	急性期	39.2	62.3	62.9%
	回復期	47.8	75.9	62.9%
	慢性期	22.5	31.2	71.9%
	在宅医療等	175.5	189.1	92.8%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	30.1	32.8	91.9%
	小計	284.8	376.8	75.6%
杵岐 ※特例適用	高度急性期	*	20.8	-
	急性期	56.9	88.3	64.5%
	回復期	84.5	119.0	71.0%
	慢性期	89.1	102.6	86.8%
	在宅医療等	370.7	391.9	94.6%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	78.9	82.8	95.2%
	小計	601.3	722.6	83.2%
対馬	高度急性期	10.2	25.2	40.6%
	急性期	63.5	95.4	66.5%
	回復期	99.1	137.8	71.9%
	慢性期	14.1	33.0	42.8%
	在宅医療等	204.5	231.1	88.5%
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	12.6	23.5	53.3%
	小計	391.4	522.5	74.9%
総計		35,902.0	36,524.8	98.3%

「*」は10人/日に満たないため、レセプトデータを利用する推計方法の規定上表示していない。

イ) 構想区域別の医療需要

構想区域ごとの医療需要を機能区分別に詳しく見ると、次の表のとおりです。

高度急性期について、県南区域では患者全体の 35.8%（一日あたり 44.0 人）が、県央区域の医療機関に入院すると推計されています。また、壱岐、対馬区域では、県外（福岡・糸島構想区域）への流出が多くなっています。

また、急性期になると、各構想区域の自己完結率は高くなりますが、県南区域から県央区域へ、五島、上五島区域から長崎区域へ、壱岐、対馬区域から福岡県へ一定の流出がみられます。また、県央区域から佐賀県南部構想区域（嬉野市・鹿島市）への流出が見られるほか、佐賀県から佐世保県北区域への流入がみられます。

回復期については、急性期と同様の傾向がみられます。慢性期も同様の傾向ですが、対馬区域の自己完結率が低いのは、福岡県、県内の本土区域に細かく流出していることによるものと想定されます（各区域への流出数が 10 人/日に満たないため、数値は不明）。

全体として、長崎、佐世保県北、県央区域は構想区域内での自己完結率が高い区域と言えます。県南区域は、高度急性期、急性期で特に県央区域への流出が多くみられます。また、離島のうち五島、上五島は長崎区域へ、壱岐、対馬区域は福岡県への流出がみられます。

【表】2025 年（平成 37 年）の医療需要（高度急性期）

縦軸の構想区域に住んでいる患者が、横軸の構想区域に所在している医療機関に入院（受療）していることを示す。「*」は、10 人/日に満たないため、個人情報に配慮し、レセプトデータを利用する推計方法の規定上表示していない。

医療需要 (人/日)			医療機関所在地									合計
			県内								県外	
			長崎	県佐 北世 保	県央	県南	五島	上五島	壱岐	対馬	糸福 島岡 ・	
患者 住所 地	県内	長崎	438.2	16.2	12.3	*	*	*	*	*	*	477.6
		佐世保県北	*	205.8	*	*	*	*	0.0	*	*	240.9
		県央	17.1	*	188.9	*	0.0	0.0	*	0.0	*	226.9
		県南	*	*	44.0	65.4	0.0	0.0	*	*	*	123.1
		五島	*	*	*	*	12.5	0.0	0.0	0.0	*	21.5
		上五島	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	*	18.2
		壱岐	*	*	*	0.0	0.0	0.0	*	*	12.4	20.8
		対馬	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0	10.1	11.8	25.2

医療需要の各構想区域 における割合			医療機関所在地								
			県内								県外
			長崎	県佐 北世 保	県央	県南	五島	上五島	壱岐	対馬	糸福 島岡 ・
患者 住所 地	県内	長崎	91.8%	3.4%	2.6%	*	*	*	*	*	*
		佐世保県北	*	85.4%	*	*	*	*	0.0%	*	*
		県央	7.5%	*	83.3%	*	0.0%	0.0%	*	0.0%	*
		県南	*	*	35.8%	53.1%	0.0%	0.0%	*	*	*
		五島	*	*	*	*	58.2%	0.0%	0.0%	0.0%	*
		上五島	*	*	*	*	*	*	0.0%	0.0%	*
		壱岐	*	*	*	0.0%	0.0%	0.0%	*	*	59.8%
		対馬	*	*	*	*	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	47.0%

第3章 将来の医療需要

【表】2025年（平成37年）の医療需要（急性期）

医療需要 (人/日)			医療機関所在地											合計
			県内								糸福 島岡・	西佐 部賀 県	南佐 部賀 県	
			長 崎	県佐 北世 保	県央	県南	五 島	上 五 島	壱 岐	対馬				
患者 住所 地	県内	長崎	1,768.0	46.8	36.0	*	*	*	*	*	*	*	*	1,872.3
		佐世保県北	10.9	753.4	27.1	*	*	*	*	*	10.8	13.2	*	849.3
		県央	51.6	14.0	634.2	27.3	0.0	0.0	*	0.0	*	*	22.3	758.8
		県南	21.8	*	97.2	346.7	0.0	0.0	*	*	*	0.0	*	476.1
		五島	18.3	*	*	*	88.6	0.0	0.0	0.0	*	0.0	*	115.4
		上五島	12.3	*	*	*	*	38.9	0.0	0.0	*	0.0	*	62.3
		壱岐	*	*	*	0.0	0.0	0.0	56.7	0.0	27.3	0.0	0.0	88.3
		対馬	*	*	*	*	0.0	0.0	*	62.6	25.2	0.0	*	95.4
		佐賀県西部	0.0	17.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
		佐賀県南部	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

医療需要の各構想区域 における割合			医療機関所在地										
			県内								糸福 島岡・	西佐 賀県	南佐 賀県
			長 崎	県佐 北世 保	県 央	県 南	五 島	上 五 島	壱 岐	対 馬			
患者 住所 地	県 内	長崎	94.4%	2.5%	1.9%	*	*	*	*	*	*	*	*
		佐世保県北	1.3%	88.7%	3.2%	*	*	*	*	*	1.3%	1.6%	*
		県央	6.8%	1.8%	83.6%	3.6%	0.0%	0.0%	*	0.0%	*	*	2.9%
		県南	4.6%	*	20.4%	72.8%	0.0%	0.0%	*	*	*	0.0	*
		五島	15.9%	*	*	*	76.8%	0.0%	0.0%	0.0%	*	0.0	*
		上五島	19.7%	*	*	*	*	62.4%	0.0%	0.0%	*	0.0	*
		壱岐	*	*	*	0.0%	0.0%	0.0%	64.2%	0.0%	30.9%	0.0	0.0%
		対馬	*	*	*	*	0.0%	0.0%	*	65.6%	26.4%	0.0	*
		佐賀県西部	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		佐賀県南部	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

【表】2025年（平成37年）の医療需要（回復期）

医療需要 (人/日)			医療機関所在地											合計
			県内											
			長崎	県佐北世保	県央	県南	五島	上五島	壱岐	対馬	糸福島岡・	西佐賀県	南佐賀県	
患者住所 地	県内	長崎	2,119.5	63.8	42.5	*	*	*	*	*	*	*	*	2,251.2
		佐世保県北	10.9	995.9	24.3	*	*	*	0.0	*	17.7	27.5	*	1,105.8
		県央	70.2	24.4	712.8	14.4	0.0	0.0	0.0	0.0	*	*	27.1	859.9
		県南	23.0	*	87.4	406.6	0.0	0.0	0.0	0.0	*	0.0	*	528.9
		五島	22.2	*	*	*	136.5	0.0	0.0	0.0	*	0.0	*	168.7
		上五島	15.0	*	*	*	*	47.3	0.0	0.0	*	0.0	*	75.9
		壱岐	*	*	*	0.0	0.0	0.0	84.3	0.0	29.2	0.0	0.0	119.0
		対馬	*	*	*	0.0	0.0	0.0	0.0	98.1	28.7	0.0	*	137.8
			佐賀県西部	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

医療需要の各構想区域 における割合			医療機関所在地										
			県内								糸福 島岡・	西佐 賀県	南佐 賀県
			長 崎	県佐 北世 保	県央	県南	五 島	上 五 島	壱 岐	対馬			
患者 住所 地	県内	長崎	94.2%	2.8%	1.9%	*	*	*	*	*	*	*	*
		佐世保県北	1.0%	90.1%	2.2%	*	*	*	*	*	1.6%	2.5%	*
		県央	8.2%	2.8%	82.9%	1.7%	0.0%	0.0%	*	0.0%	*	*	3.2%
		県南	4.3%	*	16.5%	76.9%	0.0%	0.0%	*	*	*	0.0%	*
		五島	13.1%	*	*	*	80.9%	0.0%	0.0%	0.0%	*	0.0%	*
		上五島	19.7%	*	*	*	*	62.4%	0.0%	0.0%	*	0.0%	*
		壱岐	*	*	*	0.0%	0.0%	0.0%	70.8%	0.0%	24.5%	0.0%	0.0%
		対馬	*	*	*	*	0.0%	0.0%	*	71.2%	20.8%	0.0%	*
		佐賀県西部	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

【表】2025 年（平成 37 年）の医療需要（慢性期）

医療需要 (人/日)			医療機関所在地									合計
			自県									
			長崎	県佐 北世 保	県央	県南	五島	上五島	壱岐	対馬	西佐 賀賀 県	
患者住所 地	県内	長崎	1,506.5	31.8	80.2	*	*	*	0.0	*	0.0	1,639.8
		佐世保県北	25.6	722.6	87.7	0.0	0.0	*	0.0	0.0	27.7	893.5
		県央	58.3	26.9	724.3	*	*	*	*	*	*	840.9
		県南	*	0.0	83.4	332.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	427.2
		五島	10.8	0.0	*	0.0	43.6	0.0	0.0	0.0	0.0	64.2
		上五島	*	*	*	0.0	*	21.8	0.0	0.0	0.0	31.2
		壱岐	*	0.0	*	0.0	0.0	0.0	85.6	0.0	0.0	102.6
		対馬	*	*	*	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	0.0	33.0

医療需要の各構想区域 における割合			医療機関所在地									
			県内									
			長崎	県佐 北世 保	県央	県南	五島	上五島	壱岐	対馬	西佐 賀賀 県	
患者住所 地	県内	長崎	91.9%	1.9%	4.9%	*	*	*	0.0%	*	0.0%	
		佐世保県北	2.9%	80.9%	9.8%	0.0%	0.0%	*	0.0%	*	3.1%	
		県央	6.9%	3.2%	86.1%	*	*	*	*	*	*	
		県南	*	0.0%	19.5%	77.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		五島	16.8%	0.0%	*	0.0%	67.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		上五島	*	*	*	0.0%	*	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		壱岐	*	0.0%	*	0.0%	0.0%	0.0%	83.5%	0.0%	0.0%	
		対馬	*	*	*	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	0.0%	

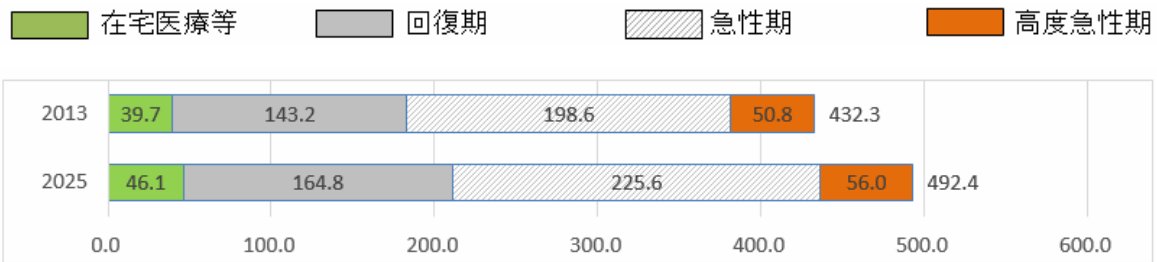
ウ) 疾患別・年齢別の医療需要

医療需要は疾患別に推計できます。特に患者数が多い、脳卒中、がん、大腿骨骨折・成人肺炎の推計結果をみると、脳卒中、がんでは、回復期の医療需要が多く、大腿骨骨折・成人肺炎では、在宅医療等の医療需要の割合が多くなっています。また、高齢者に多い大腿骨骨折・成人肺炎の医療需要が伸びています。推計は 2013 年の一般病床の入院患者のデータからの分析結果であり、入院していても推計上は在宅医療等相当とみなされる患者が一定数いることが分かります。

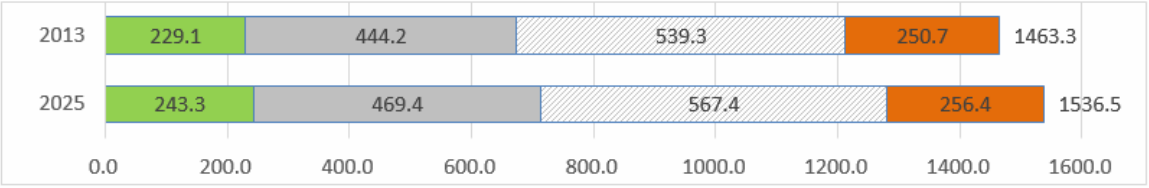
【図】脳卒中の医療需要（単位：人/日）

2013 年（平成 25 年）の医療需要は医療法の計算式にあてはめて推計した結果であり、当時の入院、在宅医療等患者の実態と一致するものではない。

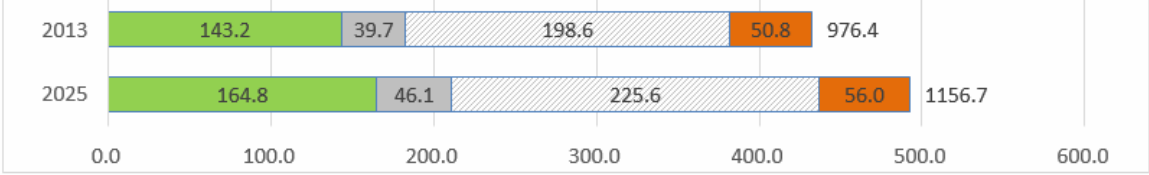
医療需要は本土の 4 区域を合計したもの（離島区域は 10 人/日未満が多く、データが不明であるため）。



【図】がんの医療需要



【図】大腿骨骨折・成人肺炎の医療需要



また、年齢別の 2025 年の医療需要をみると、在宅医療等では約 97%が 65 歳以上の高齢者の医療需要と推計されており、その割合はすべての構想区域で 90%を超えています。

【表】65 歳以上の医療需要とその割合（単位：人/日）

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	1,062.8	640.9	1,090.2	765.4	60.3%	70.2%
急性期	3,917.4	2,752.5	4,209.4	3,287.5	70.3%	78.1%
回復期	4,602.9	3,669.2	5,090.5	4,378.3	79.7%	86.0%
慢性期	5,545.6	4,619.8	3,995.0	3,345.7	83.3%	83.7%
在宅医療等	16,139.6	15,300.2	21,516.9	20,786.8	94.8%	96.6%
合計	31,268.2	26,982.5	35,902.0	32,563.7	86.3%	90.7%

医療機能	割合
高度急性期	70.2%
急性期	78.1%
回復期	86.0%
慢性期	83.7%
在宅医療等	96.6%

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	465.6	281.9	487.9	345.5	60.5%	70.8%
急性期	1,701.3	1,209.5	1,900.7	1,505.7	71.1%	79.2%
回復期	1,972.4	1,580.6	2,283.0	1,976.6	80.1%	86.6%
慢性期	2,140.5	1,911.5	1,633.7	1,486.1	89.3%	91.0%
在宅医療等	6,475.1	6,169.3	9,095.1	8,823.3	95.3%	97.0%
合計	12,754.9	11,152.9	15,400.5	14,137.3	87.4%	91.8%

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	241.6	149.9	239.0	170.3	62.1%	71.2%
急性期	819.4	563.2	847.1	645.6	68.7%	76.2%
回復期	1,044.8	831.4	1,117.2	955.9	79.6%	85.6%
慢性期	1,155.2	1,047.2	794.9	739.6	90.6%	93.0%
在宅医療等	4,382.8	4,178.7	5,461.4	5,282.7	95.3%	96.7%
合計	7,643.7	6,770.3	8,459.5	7,794.1	88.6%	92.1%

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	71.3	53.6	71.6	59.0	75.1%	82.4%
急性期	376.6	290.1	382.9	317.8	77.0%	83.0%
回復期	419.3	348.5	427.5	378.0	83.1%	88.4%
慢性期	525.8	472.4	343.0	317.0	89.8%	92.4%
在宅医療等	1,541.6	1,469.5	1,825.6	1,763.7	95.3%	96.6%
合計	2,934.5	2,634.0	3,050.5	2,835.6	89.8%	93.0%

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	13.5	10.9	12.8	11.2	80.8%	87.3%
急性期	93.4	78.2	90.4	80.0	83.7%	88.5%
回復期	142.3	126.2	138.1	128.4	88.7%	92.9%
慢性期	46.8	42.6	45.1	42.2	91.2%	93.7%
在宅医療等	462.5	444.5	462.8	451.6	96.1%	97.6%
合計	758.6	702.5	749.2	713.4	92.6%	95.2%

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
急性期	60.4	48.9	56.9	48.1	80.9%	84.5%
回復期	89.1	78.4	84.5	76.9	88.0%	91.0%
慢性期	153.0	140.3	89.1	82.0	91.7%	92.1%
在宅医療等	322.2	308.6	370.7	358.5	95.8%	96.7%
合計	624.7	576.2	601.3	565.5	92.2%	94.1%

機能	2013年(平成25年)		2025年(平成37年)		65歳以上割合	
	全体	65歳以上	全体	65歳以上	2013年	2025年
高度急性期	11.1	0.0	10.2	0.0	0.0%	0.0%
急性期	67.1	52.4	63.5	53.2	78.1%	83.8%
回復期	105.4	86.0	99.1	87.5	81.6%	88.3%
慢性期	14.7	10.5	14.1	10.5	71.4%	74.4%
在宅医療等	208.8	189.9	204.5	193.3	90.9%	94.5%
合計	407.0	338.7	391.4	344.5	83.2%	88.0%

「0.0」は、10 人/日に満たないため、個人情報に配慮し、レセプトデータを利用する推計方法の規定上表示していない。

第3章 将来の医療需要

エ) 医療需要の流入

【表】2025年の構想区域別の主な流出入状況（単位：人/日）

長崎区域			患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期			477.6	39.4	487.9	49.6	10.2
急性期			1,872.3	104.3	1,900.7	132.7	28.4
回復期			2,251.2	131.6	2,283.0	163.5	31.9
慢性期			1,639.8	133.3	1,633.7	127.2	-6.1
在宅医療等			9,133.8	283.7	9,095.1	245.1	-38.7
計			15,374.6	692.3	15,400.5	718.1	25.8
主な患者流出先二次医療圏				流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1	長崎県	佐世保県北		275.1	1	長崎県 県央	346.5
2	長崎県	県央		265.4	2	長崎県 県南	70.3
3	福岡県	福岡・糸島		38.9	3	長崎県 佐世保県北	67.2
4	長崎県	県南		16.7	4	長崎県 五島	64.3
5	佐賀県	中部		*	5	長崎県 上五島	38.5
佐世保県北区域			患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期			240.9	35.2	239.0	33.2	-1.9
急性期			849.3	95.9	847.1	93.6	-2.3
回復期			1,105.8	110.0	1,117.2	121.4	11.4
慢性期			893.5	171.0	794.9	72.3	-98.7
在宅医療等			5,510.6	263.6	5,461.4	214.4	-49.2
計			8,600.2	675.6	8,459.5	535.0	-140.7
主な患者流出先二次医療圏				流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1	長崎県	県央		197.8	1	長崎県 長崎	275.1
2	佐賀県	西部		163.8	2	長崎県 県央	126.4
3	長崎県	長崎		67.2	3	佐賀県 西部	58.0
4	福岡県	福岡・糸島		56.0	4	福岡県 福岡・糸島	14.8
5	佐賀県	北部		40.0	5	長崎県 上五島	14.3
県央区域			患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期			226.9	38.0	268.7	79.8	41.8
急性期			758.8	124.5	828.7	194.5	70.0
回復期			859.9	147.1	893.2	180.4	33.3
慢性期			840.9	116.6	1,052.7	328.4	211.8
在宅医療等			3,921.6	293.1	3,921.4	293.0	-0.1
計			6,608.1	719.3	6,964.8	1,076.0	356.7
主な患者流出先二次医療圏				流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1	長崎県	長崎		346.5	1	長崎県 県南	409.4
2	長崎県	佐世保県北		126.4	2	長崎県 長崎	265.4
3	佐賀県	南部		102.3	3	長崎県 佐世保県北	197.8
4	長崎県	県南		68.8	4	佐賀県 南部	47.5
5	福岡県	福岡・糸島		18.8	5	長崎県 五島	16.6
県南区域			患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期			123.1	57.7	71.6	*	-57.7
急性期			476.1	129.3	382.9	36.2	-93.2
回復期			528.9	122.3	427.5	20.9	-101.5
慢性期			427.2	94.3	343.0	10.0	-84.2
在宅医療等			1,920.7	123.6	1,825.6	28.5	-95.1
計			3,476.0	527.2	3,050.5	95.6	-431.6
主な患者流出先二次医療圏				流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1	長崎県	県央		409.4	1	長崎県 県央	68.8
2	長崎県	長崎		70.3	2	長崎県 長崎	16.7
3	熊本県	熊本		*	3	長崎県 佐世保県北	*
4	福岡県	福岡・糸島		*	4	佐賀県 西部	*
5	佐賀県	中部		*	5	熊本県 熊本	*

「0.0」は、10人/日に満たないため、個人情報に配慮し、レセプトデータを利用する推計方法の規定上表示していない。

第3章 将来の医療需要

【表】2025年の構想区域別の主な流出入状況（単位：人/日）

五島区域	患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期	21.5	0.0	12.8	*	0.0
急性期	115.4	26.8	90.4	*	-26.8
回復期	168.7	32.2	138.1	*	-32.2
慢性期	64.2	20.7	45.1	*	-20.7
在宅医療等	474.2	14.3	462.8	*	-14.3
計	844.1	94.0	749.2	0.0	-94.0
主な患者流出先二次医療圏		流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1 長崎県 長崎		64.3	1 神奈川県 県央		*
2 長崎県 県央		16.6	2 長崎県 上五島		*
3 福岡県 福岡・糸島		*	3 大阪府 南河内		*
4 福岡県 粕屋		*	4 長崎県 県央		*
5 福岡県 筑紫		*	5 長崎県 長崎		*
上五島区域	患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期	18.2	*	*	*	0.0
急性期	62.3	23.4	39.2	*	-23.4
回復期	75.9	28.6	47.8	*	-28.6
慢性期	31.2	*	22.5	*	0.0
在宅医療等	189.1	13.8	175.5	*	-13.8
計	376.8	65.8	284.8	0.0	-65.8
主な患者流出先二次医療圏		流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1 長崎県 長崎		38.5	1 長崎県 長崎		*
2 長崎県 佐世保県北		14.3	2 長崎県 県央		*
3 福岡県 福岡・糸島		13.3	3 長崎県 佐世保県北		*
4 長崎県 県央		*	4 福岡県 飯塚		*
5 福岡県 筑紫		*	5 福岡県 福岡・糸島		*
壱岐区域	患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期	20.8	14.1	0.0	*	-14.1
急性期	88.3	31.7	56.9	*	-31.7
回復期	119.0	34.8	84.5	*	-34.8
慢性期	102.6	17.0	89.1	*	-17.0
在宅医療等	391.9	21.4	370.7	*	-21.4
計	722.6	118.8	601.3	0.0	-118.8
主な患者流出先二次医療圏		流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1 福岡県 福岡・糸島		87.6	1 福岡県 福岡・糸島		*
2 長崎県 県央		*	2 福岡県 飯塚		*
3 東京都 南多摩		*	3 長崎県 県央		*
4 福岡県 粕屋		*	4 佐賀県 東部		*
5 佐賀県 北部		*	5 東京都 北多摩西部		*
対馬区域	患者住所地	流出者数	医療機関所在地	流入者数	流出入の差分
高度急性期	25.2	15.1	10.2	*	-15.1
急性期	95.4	32.8	63.5	*	-32.8
回復期	137.8	39.7	99.1	*	-39.7
慢性期	33.0	22.8	14.1	*	-22.8
在宅医療等	231.1	27.2	204.5	*	-27.2
計	522.5	137.7	391.4	0.0	-137.7
主な患者流出先二次医療圏		流出者数	主な患者流入元二次医療圏		流入者数
1 福岡県 福岡・糸島		87.5	1 長崎県 県央		*
2 福岡県 筑紫		12.1	2 福岡県 福岡・糸島		*
3 長崎県 県央		10.4	3 大阪府 堺市		*
4 福岡県 粕屋		*	4 長崎県 長崎		*
5 長崎県 長崎		*	5 福岡県 久留米		*

「0.0」は、10人/日に満たないため、個人情報に配慮し、レセプトデータを利用する推計方法の規定上表示していない。